

市民活動・ボランティアを始めた人にも…

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



◆発行◆
 514-0009
 津市羽所町700番地
 アスト津3階
 みえ市民活動ボランティアセンター
 Tel.059-222-5981
 Fax.059-222-5971
 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
 NPO室のホームページ
<http://www.1.mienpo.net/npot>
 三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>
 市民活動・ボランティアニュースは
 こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】
 ●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／オールウェイズ(津センターバレス1階)／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●特定非営利活動法人みえきた市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター／寺子屋プロジェクト ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中京大学／松阪市市民活動センター／松阪まちづくりセンター『まの駅松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／伊勢市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●明和町市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館
 【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会
 【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカル光各調剤薬局
 【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／富宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

～行政や企業では解決できない地域の課題にビジネスの手法を活用～ 「コミュニティビジネス支援事業」について 三重県 農水商工部 産業支援室

コミュニティビジネスとは、「地域の課題を、住民が主体となって、地域の資源を活用し、ビジネスの手法により解決していく事業活動」のことです。今年から本格化する大量の定年退職者の受け皿や、主婦、学生などの自己実現の手段としても、近年注目が高まっています。

一方で、三重県内でコミュニティビジネスを支援する態勢が整っているとは必ずしもいえません。コミュニティビジネス成功のカギとなるのは、実際に事業を行う「プレーヤー」はもちろんのこと、経営上のアドバイスを行って事業者を育成する「アドバイザー」や、プレーヤーと顧客、さらには企業、商工団体、金融機関、専門家を結びつける「コーディネーター」など、コミュニティビジネスを支援する態勢の整備にあります。

三重県では平成18年度から、コミュニティビジネス支援事業を行っています。長期的には、各地域ごとにコミュニティビジネスの中間支援組織が必要な支援を行えるようになることを目指し、有識者による研究会の開催や、「アドバイザー」の人材育成、「プレーヤー」発掘のためのセミナー開催、コミュニティビジネスの経営相談窓口の開設を行っています。

従来から、県では中小企業や個人事業者に対する経営支援を行っておりこと「ビジネス」という面においては、ノウハウやスキルには共通の部分があります。このため、コミュニティビジネスにおける収益モデルの作り方、マーケティング、創業の方法、経営上の課題などについて、(財)三重県産業支援センターでビジネス化のご相談(無料)に応じております。個別の経営課題について高度なアドバイスが必要な場合には、外部の専門家を派遣する事業(有料)も行っています。どうかお気軽にお問い合わせください。

●コミュニティビジネス支援事業のホームページ
<http://www.pref.mie.jp/shinsan/gyousei/cb/cb1.htm>
 ●問い合わせ先／三重県農水商工部産業支援室 Tel.059-224-2749
 E-mail shinsan@pref.mie.jp
 (財)三重県産業支援センター Tel.059-228-7299 E-mail cb-info@miesc.or.jp

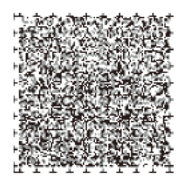
つながる つなげる 23 県ボランティアセンター 北出真由美

今年に入ってから、ますます「団塊の世代」に関する話題が増えてきていますね。三重県社会福祉協議会でも、この世代の方々を含めたシニア世代の方々に向けての講演会を開催することになりました。

日には3月17日(土)、講演会のタイトルは「団塊パワーで社会を変えよう! -蕎麦打ちだけの余生でいいの?-」です。このちょっと刺激的なタイトルは、講師の太田昌也さん(大阪ボランティア協会常務理事・三重県生まれ)からのご提案です。先生ご自身も団塊の世代にあたり、ご自分の世代やサラリーマンの方々について「地域に根ざしていない『根無し草』」とおっしゃっています。またこの世代が「ボランティア」や「福祉」という言葉に拒否感を持っていることもよくご存知です。

さて、今、自分も「確かにこの言葉ちょっと苦手かも…」と思った方、タイトルに「団塊」は入っていますが年齢に関係なく、是非この講演会に参加してみてください!なぜ「苦手だな」と思うのか、「なんとなくねえ…」だったのが「そうだったのか!」に変わって「じゃあ、こうしたらいいんだ」に発展するかもしれません。時間や場所などの詳細については今号の「イベント情報」をご覧くださいませ!

SPコード
 右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民センターに備え置いてあります。

●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

【1】(1)名張市手をつなぐ育成会(2)寺田伊三男(3)名張市美旗中村2339番地の11/【2】(1)みえケア・マネジメント協会(2)吉川 淨(3)津市新東町塔世127番地/【3】(1)四日市農地活用協議会(2)矢島正浩(3)四日市市八千代台1丁目1番地148 (平成19年1月10日~平成19年2月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

工房ゆう(平成18年8月31日)/介護専門・アニマルセラピー協会わんとほーむ(平成18年11月1日)/ひまわり(平成19年1月15日)
(平成19年1月10日~平成19年2月9日届出分)

みえ市民活動ボランティアセンター職員募集!

平成19年4月1日から勤務をしていただける嘱託員(市民プロデューサー)を募集します。仕事の内容は、みえ市民活動ボランティアセンターに勤務し、みえ県民交流センターの管理運営業務を通して市民活動のサポートを行っていくことです。

●募集職種と内容等/1、みえ県民交流センター嘱託員...7人の交代勤務で、昼間は1日8時間、夜は5時間の勤務。昼間は1人体制、夜間と土日祝日は2人体制。2、市民活動嘱託員...月16日以内で1日8時間勤務。主にHP作成等、市民活動情報ネットワーク運営に関する業務。

●受付期間/平成19年2月26日(月)~3月5日(月)(申込多数の場合は、締切を早めます)

●受付時間/平日9:30~17:00 ●面接予定/3月8日(木)

●問い合わせ先/津市羽所町700 アスト津3階 県生活部NPO室 Tel.059-222-5981

NPO(ボランティア団体・市民活動団体等)からの協働事業提案審査委員を募集します。

三重県では、NPO等が自ら企画して県に提案し、相互に議論・検討を重ねて、事業構築や研究を行うNPO(ボランティア・市民活動団体等)からの協働事業提案募集を選考する市民審査委員を募集します。

●応募資格/県内に在住または勤務されている方で、月1回程度の審査委員会または検討会等に出席可能な方

●委員の職務/1、NPOから提出された「協働事業提案」に対する審査・選考。2、審査の方法、審査基準の検討。3、選定後の事業構築や研究に係る諸活動のサポート等。 ●募集人数/3人募集

●募集期間/2月26日(月)~3月15日(木)17:00必着

●応募方法/名前、住所、連絡先(電話、Fax、E-mail)を記入のうえ、『市民社会の実現のため市民セクターに求められる役割』についての意見を800字程度で提出。(様式自由、メール可)

●問い合わせ先・提出先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階三重県生活部NPO室 Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

ホームページ <http://www1.mienpo.net/npot/>

イベントスケジュール



犯罪被害者支援チャリティーコンサート

●とき/3月4日(日)13:00~17:15

●ところ/三重県総合文化センター大ホール

●参加費/要入場整理券(チャリティーのため中学生以上の方は、1人500円の募金をお願いします)

●内容/ミニコンサート(大川学園津西幼稚園、白子高校吹奏楽

部、COMBAT LIFE、あつ、KUNI—KEN(津軽三味線)、うたまる)のほか、チャリティーオークションなどを行います。チャリティーオークションには趣旨にご賛同いただいた、歌手、スポーツ選手などから直筆サイン、グッズを多数提供いただきました。

●申込・問い合わせ先/(社)みえ犯罪被害者総合支援センター
Tel.059-213-8211

コミュニティビジネスアドバイザー人材育成事業

●とき/3月9日(金)、13日(火)、23日(金)の全3日 時間は初日のみ10:00~16:00。2・3日目は10:00~17:00

●ところ/アスト津3階ミーティングルームA 及び301 会議室

●参加費/無料 ●募集人数/10人程度

●内容/コミュニティビジネスについての基礎的な知識や具体的な事例、アドバイス手法の初歩を学んでいただき、身近な相談相手として活躍できる人材を養成することが狙いです。参加対象は原則として、商工会、商工会議所、市民活動センター、中間支援団体などでコミュニティビジネスの支援を行おうとする者です

●申込・問い合わせ先/農水商工部産業支援室(担当:三浦、太田) Tel.059-224-2749 E-mail shinsan@pref.mie.jp



多文化共生社会づくり講座 「異文化間に橋をかける」

●とき/3月9日(金)13:30~16:00

●ところ/県伊賀庁舎7階大会議室(伊賀市四十九町2802)

●参加費/無料

●内容/基調講演「異文化間ソーシャルワーカーとは」日本福祉大学社会福祉学部助教授、石河久美子さん。講演後はパネルディスカッションを行います。

●申込・問い合わせ先/伊賀県民センター(担当:川合)

Tel.0595-24-8137 Fax.0595-24-8010

E-mail gkenmin@pref.mie.jp



第4回セント・パトリックステーパレード伊勢

●とき/3月10日(土)12:00集合(雨天決行)

●ところ/伊勢神宮外宮 まが玉池付近 集合

●内容/2007年は日本・アイルランド国交樹立50周年!伊勢志摩とアイルランドの文化交流を通じて、伊勢志摩の魅力をPR、地域の活性化事業につなげます。春の訪れを祝い、音楽と踊りに彩られた緑の国(アイルランド)のお祭りを、伊勢市駅周辺をパレードします。ぜひご覧ください。ボランティアスタッフも募集中!(要連絡)

【同日開催「オイスターフェスティバル」】

●とき/3月10日(土)14:00~16:00

●ところ/伊勢高柳商店街

●内容/「みえのカキ」焼きカキ無料試食、「プロによるカキむきコンテスト」...チャンピオン当てクイズ。「カキの積み上げコンテスト」...ちびっこ参加者募集(当日受付)プレゼントあり!

●問い合わせ先/伊勢市岩渕2-3-14(遊遊バー内)

アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン伊勢パレード実行委員会

Tel.0596-27-3222

乳がん体験者の会 あげぼの会三重支部医療相談会

●とき/3月11日(日)13:30~16:00 ●参加費/無料

●ところ/じばさん三重5階情報交換室2(四日市市安島1丁目)

●内容/三重県立医療センター乳腺外科医長、重盛千香先生とともに術後の不安などをディスカッションしましょう。また術後の浅い方、再発している方は、重盛先生による個人相談も受け付けます。

●応募締切/3月5日(月)

●申込・問い合わせ先/小野節子 Tel.&Fax.0596-25-3426



団塊パワーで社会を変えよう! —蕎麦打ちだけの人生でいいの?—

●とき/3月17日(土)13:30~ ●参加費/300円

- ところ/フレンテみえセミナー室C(三重県総合文化センター)
- 内容/講師に社会福祉法人 大阪ボランティア協会 常務理事で三重県生まれの太田昌也さんを迎え、いつもとは違う角度から「地域」のことや「ボランティア活動、市民活動」についてお話していただきます。講演会後に交流会(お茶菓子+α付き)もあります。
- 申込・問い合わせ先/三重県ボランティアセンター
Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635
E-mail mvc@miewel.or.jp
- 主催/三重県社会福祉協議会



四日市まんなか子ども劇場

子ども寄席

●とき/3月17日(土)19:00~

- ところ/四日市市文化会館第2ホール
 - 参加費/前売2500円 当日3000円
 - 内容/寄席話の実演と解説、落語、紙切り、太神楽曲芸など。対象は小1からです。会員になると年間3~5回の文化芸術体験ができます。現在、入会金無料キャンペーン中。
 - 主催/子ども文化ネット(四日市まんなか子ども劇場、子育て広場・ドロッピン、NPO法人体験ひろば☆子どもスペース四日市)
- ### ワンデーレッスン「変わり寿司とティラミス」
- とき/3月27日(火)10:00~12:00
 - ところ/常磐地区市民センター
 - 参加費/会員700円 一般1000円(材料費別途必要)
 - 内容/一人で孤独に子育てをしてみえるお母さんを対象にし

た、手軽にできるお料理のワンデーレッスンです。託児は一人500円、二人目からは半額で受け付けています。

●申込・問い合わせ先/四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670

地域たすけあいフォーラム

- とき/3月17日(土)10:00~15:30
- ところ/三重県総合文化センター生涯学習センター中研修室
- 参加費/会員500円 非会員1000円
- 内容/市民協専務理事、田中尚輝さんの講演会。第1部「どうする介護保険事業所運営」。第2部「団塊世代のボランティア活動について」。講演後、質疑応答も行います。
- 問い合わせ先/NPO法人市民福祉ネットワークみえ(事務局担当:山路秀雄)Tel.059-229-0880 Fax.059-229-4880

国際理解講座「アメリカ格差社会に見る日本の近未来~私たち市民の武器とは~」

- とき/3月18日(日)13:30~16:00
- ところ/伊勢商工会議所4階中ホール(駐車場有)
- 参加費/無料 ●募集人数/60人
- 内容/アメリカで生活を送り、「同時多発テロ」に遭遇した堤未果さんは事件後精神的ダメージを受け帰国しましたが、アフガン攻撃、イラク戦争と報復に走るアメリカに疑問を抱き、アメリカ社会を取材しはじめました。取材に渾身の力を込めた堤さんの見た等身大のアメリカとは?著書「報道が教えてくれないアメリカ弱者革命」では昨年日本ジャーナリスト会議黒田清新人賞を受賞しました。
- 申込方法/電話、Fax、E-mailで下記まで。会場に余裕があれば当日参加も可。
- 申込・問い合わせ先/伊勢市国際交流協会事務局



「CSR」とは、企業も社会の一員として、さまざまな角度から、地域社会などに対し、責任ある行動を取ろうという考え方です。

『Be always for Customers』~いつでもお客様のことを意識しましょう~ 井村屋製菓

井村屋製菓は、明治29年(1896)地元松阪にて「山田膳流しようかん」を製造販売する菓子舗を創業。

当時より地元は勿論のこと、関西地域を中心に大好評をいただき「ようかんの井村屋」としての菓子舗の名声を高め、戦後の会社設立の基盤を築きました。

昭和22年(1947)に会社設立し、現在の高茶屋に本社を構え「井村屋製菓株式会社」として、今年、平成19年(2007)会社設立60周年記念を迎えます。

昨年、井村屋フィロソフィーを制定し、『Be always for Customers』~いつでもお客様のことを意識しましょう~

を社員一人ひとりが、常に意識して企業活動に取り組んでいます。

平成17年7月には、井村屋グループCSR憲章を制定し、企業の社会的責任を経営の重要課題として、その実現に向けて様々な活動を実施しております。

井村屋グループ会社ではCSR活動の一環として、地域の清掃活動や地域活性行事に参加をしております。

【地域環境活動】



4月津市偕楽公園清掃

4月には、当社グループに入社した新入社員研修の中で、地域社会への貢献・ボランティア精神の醸成ということで、津市の偕楽公園にて、清掃活動を実施しました。

花見シーズン中ということで、たくさ

んの方から激励のお声を掛けて頂きました。

7月には、津市の花火大会を綺麗な海で観賞していただきたいと考え、当社労働組合と協働で海岸の清掃活動を実施いたしました。

8月は、津市大門繁華街の「だいたてアーケード夏祭り」にも参加して、肉まん・あんまんのキャラクターである、好包(ハオパオ)ファミリーのトントンパも参画し、最後の抽選会のお手伝いをさせて頂き、地域の皆様と身近にふれあう場として参加できました。

また、地元の皆様から親しみあるお声もいただき私達も感謝いたしました。

【社内環境活動】

当社では、月に一度「クリンデー」を設けて会社の外周や、周辺の清掃をおこなって、綺麗な環境づくりに毎回多数の社員が参加し、環境マナーを実感しています。

12月には、『つ・環境フェア』に参加し当社が取り組んでいる環境活動のPRをさせて頂きました。

また他社の環境活動に対する取り組みを拝見させて頂き、とても勉強になりました。今後の環境活動に繋げて行きたいと思っております。

これからも、地域のお客様や従業員から魅力溢れる会社とさせて頂けるように勤めてまいります。



7月御殿場海岸清掃活動



8月津だいたてアーケード夏祭り



農業を体験してみませんか

●とき/3月18日(日)10:00~16:30

※毎月第3日曜日の10回講座

●ところ/JA伊賀南部西支所隣 名張ファーム事務所付近(名張市安部田1107 近鉄赤目口駅下車 徒歩約20分)

●参加費/15000円(保険料を含む)

●内容/第1回は農作業の基本についてとじゃがいもの植え付け。ほかにトラクターや刈払機などの使い方、田植えや野菜を育てるなどの体験講座です。本講座は産業後継者の育成を目指すと共に、団塊の世代の人たちが退職後も生きがいを持って生活してもらう一つとして、誰もが気軽に農と土に親しんでもらえる講座です。

●持ち物/帽子、軍手、長靴、弁当、水筒など

●主催・申込・問い合わせ先/NPO日本のコメを守る会・合同会社名張ファーム Tel.&Fax.0595-61-3826



文化交流フェスティバル2006inみえ ファイナルステージ 3つの色から無限の色へ

●とき/3月21日(祝・水) ●参加費/2200円

●ところ/三重県生涯学習センター ●募集人数/40人

●内容/赤・青・黄色の三色と白を混ぜて、様々な色を作ります。絵を描くのが苦手...と思っているあなた!ぜひ、自分の色を見つけてみませんか?講師は「キミコ・ブランドウ」代表の松本一郎さんです。

●申込先/515-0045 松阪市駅部田町112 ツインハーティ D2 102 (特)松阪子どもNPOセンター

Tel.&Fax.0598-26-6128 E-mail info@mknpo.jp

ホームページ http://www.mknpo.jp/

●主催/(特)三重県子どもNPOサポートセンター

NPO法人事業報告書類の説明会

●とき/3月26日(月)10:00~16:00

●ところ/みえ市民活動ボランティアセンター会議室 (津市羽所町700アスト津3階)

●参加費/2000円(資料代他) ●応募締切/3月20日(火)

●内容/事業報告書類は事業報告と会計報告からなります。なかでも、会計報告の書き方、まとめ方に困られる方が多いようです。そこで会計事務所の総務部長で経営士の安田先生にわかりやすくお話いただきます。また、経営士である松永先生からパソコンの活用について簡単に説明いただきます。

●申込方法/住所、氏名、電話番号を、Fax.かE-mailで下記まで。

●申込・問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター NP O室 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

●主催/NPO法人MSC中部 Tel.&Fax.052-651-1587



三重ダルクチャリティーコンサート ~音で心をつなぐ~

●とき/3月31日(土)開場13:00 13:30~15:30

●ところ/アスト津4階 アストホール(津市羽所町)

●参加費/前売900円、当日1000円

●内容/9年前、三重県唯一の薬物依存症リハビリ施設として誕生した三重ダルクのことを多くの方に知っていただきたいと思い、チャリティーコンサートを行います。美しいハーモニーを奏でる“女声アンサンブルぐらくらトンボ”、音楽をこよなく愛する“マンゴボンゴ”の演奏、高校生によるダンスパフォーマンスをお楽しみください。

●問い合わせ先/三重ダルク(担当:青山)

Tel.059-222-7510



平成19年度「県民の日」記念事業

●とき/4月14日(土)13:00~16:20

●ところ/三重県総合文化センター中ホール

●参加費/無料(要参加券)

●内容/「県民の日」を記念して、県民功労者表彰、記念講演「こころを伝える、明日を生きる」(講師:芥川賞作家伊藤たかみ氏)、県立白子高等学校吹奏楽部による演奏等を行います。

●募集人数/850人 ●応募締切/3月23日(金)必着

●申込方法/往復はがきで申込み。詳細はお問い合わせを。

●申込・問い合わせ先/三重県生活部文化振興室

Tel.059-224-2176 Fax.059-224-2408

ネットワークのよびかけ

DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者支援にご協力をお願いします

【活動メンバー・活動拠点募集...民間団体からのお願い】

DV被害者のために、週3回の電話相談(火曜・木曜・土曜 10:00~22:00)を中心に活動しています。一緒に活動して下さる方、活動拠点となる場所を募集しています。

●問い合わせ先/DVヘルプライン・MIE

Tel.090-9223-3351 (DVヘルプライン・MIE 相談電話)

【活動メンバー・民間シェルター設立のための募金

...民間団体からのお願い】

DVから逃れてきた女性や子供たちが、安心して心と体を休め、新たな人生を歩み出すための準備をする施設、シェルターを民間で設立したいと考えています。5年後の設置を目指して、募金活動を実施中。資金・募金活動を一緒に行って下さる仲間も募集します。

●問い合わせ先/民間シェルターを建設する実行委員会事務局 Tel.0595-52-1773

【生活支援物資の登録、提供...県からのお願い】

DV被害者として緊急的に一時避難した人が、新しい生活に移り自立して生活するために、必要な物資をご提供いただける方の登録をお願いします。募集している物資は寝具類・電化製品(炊飯器、オーブンレンジ等)、自転車です。ご提供いただける物品を予め県に登録いただき、DV被害者の人が必要とする際に、県へお届けいただくようお願いします。

●問い合わせ先/県健康福祉部こども家庭室 児童福祉グループ Tel.059-224-2883 Fax.059-224-2270

E-mail kodomok@pref.mie.jp



「志摩ロードパーティーハーフマラソン 2007」ボランティアスタッフ募集

●応募締切/3月26日(月)必着

●とき/4月22日(日)8:00~16:00(雨天決行)

(8:00ボランティアミーティング 10:00開会式)

※21日(土)8:00~16:00前日設営

●ところ/志摩スペイン村特設会場内受付テントボランティア受付(志摩市磯部町坂崎 Tel.0599-57-3511)

●活動内容/【給水ポイントヘルパー】募集人数100人程度。コース上の給水ポイントで選手に水分をとってもらうためのサポート。

【メイン会場受付ほか】募集人数50人程度。メイン会場受付にて、スタート前、ゴール後の選手や、付添の家族の方々をサポートします。また、一部、ゴミ分別ナビゲートも行います。

●募集対象/個人参加の場合は18歳以上の元気な方。家族・グループ参加の場合は18歳以上の引率者1人につき子ども4人まで。

●申込方法/ボランティア登録申込書に必要事項を記入のうえ、事務局に郵送、Fax.、E-mailなどの方法で提出。

●申込・問い合わせ先/517-0501 志摩市阿児町鞆方
1377-5 志摩ロードパーティ実行委員会 ボランティア受付係
Tel.0599-43-0400 Fax.0599-43-4449
E-mail shimajc@violin.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.shimarp.jp/

を記入した返信用封筒(A4が入る大きさ)を同封し、下記まで郵便にて請求。
●問い合わせ先/財団法人 区画整理促進機構 街なか再生全国支援セ
ンター(街なか再生NPO助成金担当:浮本) 102-0093 東京都千代田
区平河町2-3-11花菱平河町ビル3階 Tel.03-3230-8477
Fax.03-3230-4514 E-mail mail@sokusin.or.jp
ホームページ http://www.sokusin.or.jp/machinaka/index.html

助成金 ニュース

平成19年度国際ボランティア貯金の寄附金配分団体の公募

- 申請の受付締切/平成19年3月23日(金)当日消印有効
- 助成の対象となる団体/次の要件をすべて満たしていること。
1、民間の発意に基づく開発途上にある海外の地域の住民の福祉の向上に寄与するための援助(天災その他、非常の災害が生じた場合におけるその災害を受けた海外の地域の住民の緊急の需要を満たすための援助を含む)に関する事業を実施する、営利を目的としない民間の団体であること。
- 2、日本国内に事務所を置き、かつ、代表者が定められ、意志決定及び活動の責任の所在が明確であること。
- 対象となる事業の実施期間/平成19年7月1日~平成20年6月30日
- 応募方法等/配分申請書の様式等はE-mailまたは電話にて、団体の名称、団体の所在地、担当者氏名、連絡先の電話番号を下記まで連絡するか、下記のホームページよりPDFファイルをダウンロードして使用。応募は必要事項を記載した配分申請書に添付資料を添えて、配達記録郵便にて下記問い合わせ先まで送付。
- 問い合わせ先/日本郵政公社 郵便貯金事業総本部 ボランティア貯金・お客さま相談担当 100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2
Tel.03-3504-4097 E-mail posiva@japanpost.jp
ホームページ http://www.yu-cho.japanpost.jp/volunteer-post/

循環型社会の形成に向けたエコ・コミュニティ事業 平成19年度循環型社会形成実証事業の公募

- 受付締切/平成19年3月26日(月)消印有効
- 助成の対象となる団体/民間法人、任意団体等。
- 助成の対象となる活動/NGO・NPO等の民間団体や事業者が地方公共団体等と連携して行うリデュース・リユース・リサイクルやグリーン購入などの循環型社会形成に向けたものであって、先駆的かつ他の地域に適用可能な一般性を有する実証事業。具体的には、以下を満たす事業。
3R(リデュース・リユース・リサイクル)やグリーン購入の推進など循環型社会の形成に資する事業であること。/事業主体が、地方公共団体等との協力関係のもとに行われる、事業を実施すること。/他のモデルとなるような創意工夫がなされた事業であること。/計画の策定や検討のみではなく、当該年度中に具体的な実証事業が行われる事業であること。/単年度の事業ではなく、本事業終了後も、活動の継続が期待される事業であること。/営利を目的とせず、実証データを取得するのに必要な最小限の範囲の事業であること。
- 助成の額/1事業あたりおおむね100~1000万円程度(税込)とし、具体的な金額は、事業計画を精査の上決定。
- 応募方法/応募書類を郵送(宅配便も可)で提出。
- 問い合わせ先/中部地方環境事務所(担当:笹木、岩田) 460-0003 名古屋市中区錦3-4-6 桜通大津第一生命ビル4階
Tel.052-955-2132 Fax.052-951-8889

街なか再生等NPO助成金

- 受付締切/平成19年3月31日(土)
- 助成の対象となる団体/主に、まちづくりに関心を持ち、活動・運動・事業を行っている次のいずれかの法人。(1)法人格を取得しているNPO。(2)法人格を取得している中間法人。(3)中心市街地活性化協議会(法に定めるもの)及び認定TMO。(4)面整備の準備組合。
- 助成の対象となる活動/市町村の中心として役割を果たしている「街なか」を対象地域とし、下記の項目で、街なか再生に寄与すると考えられる事業。
(1)まちの資源(歴史的建造物、産業遺産)を活用する取り組み。(2)まち特有の文化、伝統を活用する取り組み。(3)まちの新たな魅力、可能性を探る取り組み。(4)まちの環境・景観を向上する取り組み。(5)まちを活性化するためのまちの維持管理運営に係る取り組み。(6)まちに住まいや店舗等の立地を促進する取り組み。(7)街なかの土地区画整理事業等の面整備を推進する取り組み。
- 助成の額/総額は200万円以内。1事業限度額40万円以内。
- 応募方法/申請書及び市町村の推薦状はホームページからダウンロードして使用。郵送希望の方は送料分の切手(1部につき140円)を貼って郵送先

「まちづくり人」応援助成金

- 受付期間/平成19年3月1日(木)~3月31日(土)到着分まで
- 助成の対象となる活動/1.新しいまちづくり活動を提唱する人々を応援します。/2.まちの中心に元気を取り戻すまちづくり活動をする人々を応援します。/3.世代間交流を活発にするまちづくり活動をする人々を応援します。/4.高齢者が元気になるまちづくり活動をする人々を応援します。/5.子育てに役立つまちづくり活動をする人々を応援します。/6.まちづくり活動をする子供や若者を応援します。
- 助成の額/総額600万円。1件上限50万円。10数件程度選出。
- 応募方法/助成金交付申請書およびその他必要書類はホームページよりダウンロードして記入作成。
- 問い合わせ先/財団法人まちづくり市民財団事務局
102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 日本青年会議所会館内
Tel.03-3234-2607(平日9:30~18:00) Fax.03-3234-5770
E-mail machizkr@interlink.or.jp
ホームページ http://home.interlink.or.jp/~machizkr/index.htm

ヤマト福祉財団 障がい者福祉助成金

- 受付期間/平成19年3月1日(木)~3月31日(土)消印有効
但し、奨学金の供与受付は5月10日(木)まで
- 助成の対象/【1、一般助成】
障害者の自立と社会参加及び生産力アップなどに直結する事業を優先。
(1)障がい者施設の改善、整備、備品等の購入。(2)各種会議、講演、研修事業。(3)各種出版、啓発活動等。(4)各種調査、研究事業。(5)文化事業、スポーツ活動等。
【2、障がいのある大学生に対する奨学金の供与】
国内の4年制大学に在籍あるいは入学予定の方。
- 助成の額/1は1件あたり上限100万円。2は月額5万円(年間60万円。返済の必要はありません)
- 応募方法/1は助成申請書を下記まで請求するか、ホームページからダウンロードして使用。2は奨学金申込書用紙を下記までFax、E-mailにて申込む。
- 問い合わせ先/(財)ヤマト福祉財団(福祉助成金事務局)
104-0061 東京都中央区銀座2-12-15
Tel.03-3248-0691 Fax.03-3542-5165
E-mail y.zaidan@yamatofukushizaidan.or.jp
ホームページ http://www.yamato-fukushi.jp/

第5回日本都市計画家協会賞

- 受付締切/平成19年3月31日(土)消印有効
- 授賞の対象となる活動/個人、法人、各種団体、NPO、大学等の教育機関、コンサルタントおよび地方公共団体等が行った、または、行っているまちづくりの取り組み。
- 表彰の内容/表彰は、大賞と特別賞に大別し、特別賞は大賞に応募された中から、別途選考します。
【日本まちづくり大賞】
【特別賞】(1)まちづくり教育部門賞(2)学生まちづくり部門賞(3)北海道支部賞(4)静岡支部賞(5)横浜支部賞(6)関西支部賞
- 助成の額/総額100万円
- 応募方法/応募要綱・用紙は、ホームページからダウンロードして使用。ダウンロードできない場合は下記に連絡し、メールかFaxで送付してもらうことも可能。提出は郵送、持参、メール送付にて。
- 問い合わせ先/(NPO)日本都市計画家協会 105-0002 東京都港区愛宕1-1-9愛宕チャンピオンビル4階 Tel.03-5401-3359
Fax.03-5401-3389 E-mail jsurp@japan.email.ne.jp
ホームページ http://www.mmjp.or.jp/jsurp/

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ http://www.jfc.or.jp/

今月特集

災害時のボランティア活動をサポートする

みえ災害ボランティア支援センター 始動!

◇ 協定書の調印

昨年12月7日の「みえ地震防災の日」に、三重県と民間4団体の間で、災害発生時にボランティア活動を広域的にバックアップする「みえ災害ボランティア支援センター」を協力して立ち上げるという協定を結びました。

災害時の設置場所は、みえ県民交流センター（アスト津3階）内となります。

◇ 県内で災害が発生した場合

広域センターとして各種団体との連携や情報受発信、ボランティア募集・派遣を行う県内各地の現地ボランティアセンターを支援します。

◇ 県外で災害が発生した場合

被災地のボランティアセンターと連絡を取り合っ、三重県から被災地を支援するボランティアへの情報提供や交通手段の提供（ボラバック）などを行います。

◇ 協力団体募集中!

みえ災害ボランティア支援センターの活動にご賛同いただける、「協力団体」を募集しています。

三重県内の防災・災害救援に関心があり、活動されている団体（ボランティア・NPO団体や自治会、婦人会などの地域組織、企業、学校やPTA、行政など、法人格の有無は問いません）の方は、ぜひ、お問い合わせください。



平成18年三重県総合防災訓練にて、災害ボランティア支援センター実設訓練を行いました。

平常時お問い合わせ先：三重県生活部NPO室

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階

TEL: 059-222-5981 FAX: 059-222-5971 E-mail: center@v-bosaimie.jp

URL: <http://www.v-bosaimie.jp/mvic/>

中間支援組織担当者ネットワーク交流会・協働勉強会

2月7日に開催された中間支援組織担当者ネットワーク交流会・勉強会は、5団体10名で開催されました。

今回は、三重県農水商工部産業支援室（TEL 059-224-2749）、健康福祉部業務食品室（TEL 059-224-2331）メディカルパレー推進グループ各担当者もご参加いただき、地域の特産物、観光資源、経験豊かな団塊世代といった地域の資源をいかに組み合わせ、活用していくか、コミュニティビジネスとして育てていく方法など、意見交換を行いました。

また、お気軽にご参加ください。

◇ 交流会

日時：3月20日（火）午後1時30分～4時30分

◇ 協働勉強会

日時：4月12日（木）午後1時30分～4時30分

※どちらも場所は、みえ市民活動ボランティアセンター 交流スペース



地域情報「人財ポケットよっかいち」スタート!

団塊の世代などをターゲットにした、総合的な社会貢献型の人材バンク「人財ポケットよっかいち」が、2007年1月から本格的にスタートしました。

地域のさまざまな公益的なニーズを集約し、人財ポケットよっかいちに登録された方とのマッチングを行います。四日市NPOセクター会議が内閣府の支援を受けて、このしくみを構築しました。

「人財ポケットよっかいち」は、自分の力を四日市市をよくするために役立てたいと考える人なら誰でも登録できます。得意分野、年齢、性別、住所等を問いません。

登録すると、毎月1回、四日市を中心に活動するNPO、地域団体、各種団体、学校、行政などから集められた地域のニーズの一覧表が届きます。届いたニーズを見て、関心があるものを自分で選んで活動していただけます。

あくまでも個人の自由選択で、義務はありませんので、お気軽に事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先：W.T.A まちづくりセンター

〒518-0867 三重県伊賀市上野福居町3317番地

TEL 0595-24-7612 FAX 0595-22-0072

E-mail: nagi_47_4_3@yahoo.co.jp

URL: http://www.geocities.jp/william_tells_apple/

人財ポケットよっかいち事務局（四日市NPOセクター会議）

〒512-8512 三重県四日市市萱生町1200 四日市大学 9401

NPO法人市民社会研究所内

TEL 059-363-3539 FAX 059-355-2640 E-mail: ssk21ww@yahoo.co.jp

URL: <http://www.geocities.jp/yokkaichinpo/index-pochet.html>

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。新日本婦人の会津支部長として活躍している水谷由美子さんが教えてくださったのは石崎 豊さん。趣味の落語をいかして県内各所で落語会を催すほか、イベントや学校行事などで落語を披露しています。

下手な落語を無理矢理聞いてもらう!?

……落語を始めたのは?

大学生の時です。1970年に入学して、仲間と一緒に落語研究会を作りました。私は初心者でしたが、中学時代から落語をやっていた友人が詳しく、彼に教えてもらいました。卒業後、教職に就いてからも、大学時代の友人と落語会をしたり、1980年に津で『寢床の会』を創設したりして続けています。『寢床の会』メンバーは現在、5.5人(笑)。正式メンバーが5人で、一人は見習い中です。

……『寢床の会』という名前が面白いですね。

「寢床」という落語に浄瑠璃好きの大家さんが出てくるのですが、下手なんです。でも、大家の権柄をもって、店子たちに聞かせようとする癖です。ですから、下手な落語を無理矢理人に聞かそうというのが『寢床の会』命名の由来です(笑)。

……『寢床の会』以外での活動は?

教師を退職してからは公民館や学校や地域の人権推進協議会など、いろいろな所で公演しています。『寢床の会』以外に継続的に行っているのは伊勢市神社港の「みなとまち寄席」と、久居ふるさと文学館での「子ども寄席」。伊勢市の場合はセントレア行き船が発着している海の駅で続けています。ここでは地域の方が集まってきて、私の落語が始まる前からワイワイしています。ここにすれば、地元のお友だちに会える、そんな会になってきたのが嬉しいですね。これは月1回開催しています。「子ども寄席」の方は年4回行って、先月第8回目を迎えました。こちらは落語だけではなく、毎回、いろいろな方をゲストとして招いています。

……それは図書館の方で人選するのですか?

人選もお礼も私の方でしています。落語以外の文化にも子どもたちに触れて欲しいと思って、オカリナやバイオリン、マジック、南京玉すだれ、ハーモニカなどをこれまで演じてもらいました。

……石崎さんに謝礼は出るのですか?

久居ふるさと文学館の場合は津市の規定に従って頂いています。ただ、知り合いの先生から「うちで落語をやって」と頼まれるとイヤとも言えませんから、喜んでいきます。聞き手が喜んでくれれば嬉しいし、やはりそこはお金の問題ではないです。特に、学校のクラスや学年で落語を演じるのは演りやすいです。学級は集団が出来ているでしょう!みんな最初からノッてくれますからね。クラスに入って、まず「笑ってみて」と言うと、みんなが笑おうとしてくれますよ(笑)。「面白くても、面白くなくても、笑ってください。」なんて言っても、それだけで笑うことも多々あります。逆に、不特定多数の子どもたちが集まってくる場では、知らない人ばかりだから最初は遠慮があって、堅

い雰囲気になりますね。それをほぐすことから始めます。

……無料公演の場合もあるのですか?

ただね、無料で呼ばれた時は、割といい思い出がないのですよ。係の人も熱意が無いというか「勝手に来て、勝手に演って」という感じで。もちろん、そんな場所ばかりではないですが、だから、私の活動がボランティアかと言われると自信が無いですね。

……有料ボランティアという考え方もありますし、石崎さんの活動は十分、ボランティアだと思いますよ。

落語会は担当者の熱意がお客さんに伝わると私は思います。しおりを用意したり、私のやりやすいように場所をセッティングしてくれたりすると、それがお客さんにも伝わるようです。

……細かなセッティングが必要なのですか?

落語は何もないところで一人の人間が演じます。「ここにボールがありますよ」の台詞で、お客さんにボールを思い浮かべてもらわないといけないような線の細い芸です。携帯電話やカメラのフラッシュで簡単に世界が壊れてしまう。ですから、環境設定がすごく大事です。私は落語を依頼されると必ず、「演じる場所で打ち合わせをさせていただきます」と言って、その場所を見て、セッティングもお願いしてきます。いつもお願いすることは、お客さんの密度が濃いこと(つまり満員状態であること)とお客さんの目の高さと同様者である私のひざの高さを同じにしてもらうこと。それとカメラの使用禁止。どうしても撮る時は落語の本筋に入る前のマクラと呼ばれる部分で撮ってもらうようにしています。シロウトのクセに細かいことをとられるかもしれないし、下手なシロウトだからこそ、余計にセッティングに気を使います。些細なことでも落語の世界が壊れてしまいますから。

……担当者に熱意が無いと、要求に応じられないかもしれません。通常なら依頼者が私の所に打ち合わせに来るものですが、私が逆に出かけていくのは、私も頑張りますから、そちらもちょっと頑張ってくださいという気持ちもあります。

「桃太郎」から人権を学ぶ、人権落語

……子どもたちの前で最初に落語を演じたのは?

意識的にやったのは1999年です。その時は担任を持たずにいじめ対応という立場で各学級の習字の時間を担当していました。硬筆習字の授業を早く終え、「寿限無」を演じたのが最初です。落語が教科書に載る前で、まだNHKの教育番組で「寿限無」が放送される前のことでした。今の子どもたちは単語を短縮するのが好きでしょう。だから、長い名前も「じゅげちゃん」でおしまい。長い名前を繰り返すなんてことは今の子どもたちの生活感覚に合わないのではないかと思いながら、それだけに稽古だけはしていました。「寿限無」の面白さは繰り返すと、名前をいろいろな人が呼ぶ所ですから、子どもやお母さんの声色で呼んだり、お婆さんで言ってみたり、いろいろ練習しました。これが想像以上に受けて、子どもたちは大爆笑でした。そこで改めて落語のパワーに気づきました。落語はうまく出来ていると。

……学校などから公演依頼が多い作品は?

作品と言うか人権落語などが多いですね。これは「祝いのし」や「桃太郎」など、人権がわかりやすい噺を選んで演じ、その後、話をします。

……「桃太郎」が人権的なのですか?

昔話の「桃太郎」ではなく、子どもが親をやりこめる「桃太郎」という落語があるのです。この噺はなかなかよくできていて、お父さんが子どもに「むかしむかし、あるところに…」と話すと、子どもが「いつ頃や」と聞く。その質問に親が窮すると逆に子どもが親に教えていくのです。例えば、「ある所」に場所を設定するのは、日本国中どこに



石崎 豊 さんに 聞く

いっても通じるから、それだけ話が大きくなるから。「お爺さんが山に柴刈り、お婆さんが川に洗濯に行く」のはお爺さん、お婆さんは本当は父母のことで、山に行くのは父の恩は山より高いことの例え。本来なら母は海に行くべきだけれど、海で洗濯はできないから川になっているだけで、母の恩は海より深いということであらわしています。きびだんごを持っていくのは、きびは五穀の中で一番質素な物だから、人間は贅沢をしてはいけないという教えです。犬は三日飼われたら恩を忘れない忠義に厚い動物。猿は動物の中で一番賢い。キジは卵を温めている時にヘビが来ても逃げない勇気を持つ鳥。猿、犬、キジがお供に選ばれたのは智・仁・勇という三つの徳を表しているのです。鬼ヶ島は渡る世間の例えで、鬼退治のあと、山のような宝物を得ますが、この宝は一生懸命努力すれば財産、地位、名誉を与えられ、それをもって親孝行をしなさいということなんです。昔の人はこれらのことが小さな子どもにもわかるよう、「桃太郎」という昔話に仕込んでくれていたのですね。

……凄いですね。

よくできたいい噺でしょう？落語というのは含蓄がありますね。と、ここまで話すと皆さん、信じてしまいますが、今まで話したことは全部、落語のなしであって、これまで何人かの噺家さんが何年もかけて創り考えたフィクションです。創りごとなんです。ウソなんです、と申し上げると皆さんがっかりされる(笑)。簡単に信じてしまわないで、真実を見抜くことが大切だと言うことを話します。

……オリジナルは無いのですか？

完全なオリジナルではありませんが「モモタロウ・ノリターン」という噺を何度か、子どもたちの前で演じたこともあります。これは元々、静岡県の教育委員会に勤務されていた高校の先生が、男女共同参画の題材として書かれた物語です。これを落語にしたいと思って、作り直している所です。これが落語として完成すると私の人権落語第一作になるかもしれませんね。なかなかこしらえるのも難しいんです。

落語自体がすごく奥深くて おもしろいと思ひますね。

……どんな風に演じたのですか？

落語としては完成していませんので、「今からお話を作りますので、手伝って」と子どもたちに呼びかけてから、「昔々、あるところに、お婆さんとお爺さんが住んでいました」と話し、「何か違和感ある？」と聞きます。返事が返ってきたら、「昔話はお爺さん、お婆さんの順番です。学校でも男女というし、だいたい男性が前に来ますね。これは昔は男性の方が偉いとされてきたからです」と話します。二人が仕事に行くくだりになったら、お婆さんに「私も山に芝刈りに行きたい。私は洗濯をするために生まれてきたわけじゃない。」と言わせます。それに対して子どもたちにお婆さんが柴刈りに行ってはいけない理由を言ってもらいます。はい、おばあさんが柴刈りに行っては行けない理由は？

……え(笑)。男性の方が力があるとか…。

力の強い女性もいる…と質問を続けていくんですよ。そして最終的には「決定的な理由が無いので、お爺さんとお婆さんは仕事を入れ替わることにしました」と話を続けます。柴刈りに行って見ると枯れ枝はたくさん落ちていて、カラカラに乾いているから軽くて、背負うのもラクだということにお婆さんは気づきます。一方、洗濯は川の水は冷たいし、汚れを落とすには力があるし、そのうえ中腰になるから腰が痛い。柴刈りとは比べ物にならないくらい大変な仕事です。おまけに仕事をしながら、今日の夕飯の献立も考えないといけ

ない。そこに桃が流れてきて、「これを夕飯にしよう」とお爺さんは考えるわけです。その桃の中から玉のような女の子が生まれ、桃子という名前を付けました…と話は続きます。この話をすると男女共同参画のことがよくわかるようです。このやり方だと聞き手が参加していますが、これを会話で進めていくことが出来れば落語の完成です。今手応えを感じて、創っているところです。

……人権落語以外に面白いレパートリーはありますか？

英語落語でしょうか。大学時代に「落語を英語でやったら面白いやろな」と話してはいたのですが、英会話はできなかったのを忘れていました。その後、桂枝雀さんが英語落語をやり始めて、「やっぱりできるんやな、自分もやってみよう」とは思っていました。実際に演じたのは2003年にオーストラリアに1ヶ月、語学留学した時です。現地の教授に興味を聞かれて、落語と答えたところ、「落語って何？ぜひ聞かせて」という流れになって、留学最後のフェアウェルパーティーの時に「犬の目」という落語をやりました。落語を英語に訳して、それを先生に直してもらって、覚えて…。辛い、ハードな経験になりました(笑)。「犬の目」は目を悪くした人が代わりに犬の目を入れると、犬のようになってしまうという噺で、ストーリー自体はファンタジーだからいいかなと思って選びました。日本人にはあまり受けませんでしたけど、オーストラリア人には割と受けたいめで、一緒に行った日本人から「うちのホストファミリーが面白い話だったと言ってたよ」と聞いて、苦労した甲斐があったなと思いました。

……日本で英語落語を演じたことは？

桂枝雀さんの英語落語をサポートしていた山本先生が教えている英語落語の会「おふく寄席」に参加し、ニューヨーク・大阪・名古屋・津市の小学校など、何カ所かで演じました。

……石崎さんの落語のレパートリーは？

演じた噺は100席を越すと思いますけど、「今、やって」と言われたら10席くらいしか話せないと思います。一日時間を貰えば20~30席ぐらいには増えるかな。でも、年を取ってから覚えた落語は覚えるのに時間がかかって、抜けるのは早い(笑)。二十歳代に覚えた落語はしばらくやらなくても出てきますけどね。

……今、年間何回ほど落語を演じていますか？

60回くらいかな。いろいろな人と出会えるのが嬉しいですね。「あなたの笑顔は100人の笑顔をつくります」と教えてくれた方もあり、神社港のように地域の人が集まる寄り合いの場になっているのを見ると、地域の活性化とまではいかないでしょうが、少しは役立っているかなと感じます。落語をボランティアだとも思っていなかったし、何かに貢献しているとも思っていなかったのですけど。

……最後に石崎さんにとって落語の魅力とは？

一番最初は、面白いことを言うと笑ってくれる。その反応が返ってくるのが楽しかった。今もちろん同じですが、落語自体がすごく奥深くておもしろいと思ひますね。いろんな噺があるなかで、20代で見た落語も50代になって見るとまた違ったところが見えてくる。夏目漱石だったかが「落語は文化的」だと言ったそうですが、そういう文化的なところが見えてきたように感じます。

石崎 豊(切磋亭 琢磨) 津市南が丘2丁目17-11
Tel.059-225-1489 携帯090-4250-1142

石崎 豊さんはこの人を紹介します。

伊藤静生さん

童謡や唱歌の復活、人の心を癒す演奏家を目指そうと「ひぐらしハーモニカ教室」を設立しました。来月はインタビューを1回、休載いたします。伊藤さんの登場は5月号です。お楽しみに。



落語会の様子。時には観客が落語に参加することも…。



お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

- (1) 原稿はユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。
- (2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp 転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

100 PRINTED WITH SOYINK 古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。